

作業計画書の作成方法
～車両系建設機械＋移動式クレーン～

 **OKUMURA CORPORATION**

2024年9月版

この動画では、車両系建設機械と移動式クレーンの作業計画書の作成方法を説明いたします。

【作業計画書作成の流れ】

②

【作業計画書作成の流れ】

①左ページの必要事項の記入と作業計画図の作成 (協力会社)

②事務所審査・事務所長承認 (元請)

③右ページの工事所の計画指導事項を確認の上、受領 (協力会社)

④コピーして、関係者に周知・サインの上、保管 (協力会社)

【作成時に準備しておくもの】

- ・作業計画書記入用紙(紙、Excelデータ等)
- ・使用重機の性能が分かる資料 (カタログ等)
- ※使用重機を元請け会社が手配する場合
- ・作業場所の状況が分かる平面図(縮尺は1:100を基本)
- ※奥村組H P (協力会社の皆様へ)⇒安全に関するお知らせ ⇒【安全書類】からダウンロード可能

まず最初に作業計画書を作成するときの流れを説明します。

- ①協力会社のみなさんは、左ページに必要事項を記入、作業計画図を作成してください。完了したら、工事所職員に渡してください
- ②工事所職員が内容を確認、審査のうえ、問題がなければ承認します
- ③工事所から作業計画書が戻ってきたら、左ページ上部の欄に受領日を記入し、提出時に記入した安全衛生責任者の右横に押印またはサインしてください
- ④作業計画書の内容は、関係者に周知し、サインのうえ保管してください

作成する際には、次のものを準備してください。作業計画書の記入用紙、使用する重機の性能が分かる資料、作業場所の状況、縮尺が分かる平面図が必要です。手元に無い場合はご自身の会社、もしくは工事所に問い合わせてください。

【作業計画書の作成が必要な重機について】

作業計画書 車両系建設機械 移動式クレーン

車両系建設機械... 整地・運搬・積込み 掘削機 基礎工事用 締固め 解体用

接触防止安全装置搭載機: パワーショベル ドラグショベル 解体用機械



接触防止の安全装置とは
『危険範囲への侵入を検知するセンサー』と
『検知後に作動する装置※』が一体となったものです。
※音や光で警報を発する装置や自動的に停止する装置のこと
バックモニターのみでは不十分

作業計画書の作成が必要な車両系建設機械と移動式クレーンの一覧です。
使用する重機にチェックを記入してください。

このうち、赤点線枠で囲まれた重機は、接触防止のための安全装置の取り付けが必要な重機となっていますので、必ず確認してください。

【作業名称等について】

作業計画書 車両系建設機械 移動式クレーン

車両系建設機械・・・整地・運搬・積込用、掘削用、基礎工事用、締固用、解体用

接触防止安全装置搭載機: パワーショベル ドラグショベル 解体用機械

作業名称	掘削・床付～均しCON打設作業		提出日	2024年4月18日
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎	承認計画書受領日 元請け承認後に記入
③次協力会社	小川建設 株式会社	安全衛生責任者	村山 美	
作業年月日	2024年4月22日 ~ 2024年5月21日			
作業内容及び方法	掘削・床付および残土積み込み作業 均しCON打設作業			



同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。

作業名称等について記入する部分です。

項目に従って記入してください。

作業年月日の項目欄ですが、同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。

承認計画書受領日は、元請け承認後に記入してください。

【車両系建設機械について】 (記入例) 掘削・床付および残土積み込み作業の場合

機種:	PC200	型式(規格):	コマツPC257	性能(能力):	0.8m ³
ブーム長:	— m	リーダー長:	— m	掘削最大深さ(高さ):	6.62 m
接触防止 安全装置	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急停止機能 <input type="checkbox"/> 警報・警告(音、光、回転灯等)【重機のみ】に取付ける型式】				
	<input type="checkbox"/> 緊急停止機能 <input type="checkbox"/> 警報・警告(音、光、回転灯等)【重機と作業員等】に取付ける型式】				
	<input type="checkbox"/> 未搭載 <input type="checkbox"/> 装置解除 <input type="checkbox"/> モニター(カメラ)だけの場合、 理由(
作業員の 配置及び 指揮系統	作業指揮者	小川建設	村山 実	資格要件	資格
	オペレータ	//	広島 三郎	機体重量3t以上	技能講習
	誘導者	//	木部 翔太		
	合図者	//	太田 直樹		
	作業者	//	佐藤 葵		

接触防止安全装置は必須です。
万が一、安全装置が未搭載や
モニターだけの場合は理由を記入し
元請けに確認してください

【作業指揮者の選任が必要な作業内容】

- ・車両系建設機械の修理又はアタッチメントの装着及び取外しの作業
 - ・車両系荷役運搬機械を用いる作業
 - ・車両系荷役運搬機械等の修理又はアタッチメントの装着もしくは取外しの作業
 - ・一つの荷でその重量が1000キログラム以上のものを不整地運搬車に積む作業又は降ろす作業
 - ・くい打機・くい抜機・又はボーリングマシンの組立て・解体・変更又は移動の作業
- ※単独でフォークリフト作業を行う場合や、それ以外の作業については選任不要

接触防止のための安全装置は必須です。
作業指揮者の選任が必要な作業内容は記載の通りですので、該当する作業
は、必ず選任してください。


【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25
t
ラ
フ
ター
ク
レー
ン

作業方法	吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57 t ブーム m ジブ m オフセット °																									
	作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: m	実作業時の作業半径: m																								
	アウトリガー張出: (前方) m (後方) m																									
	吊具等: ・玉掛けワイヤー ・ベルトスリング ・ワイヤーモック ・チェーン ・クランプ ・シャックル ・磁石																									
	・その他(介錯ロープ)																									
作業内容	性能表等を参照⇒ フック重量 0.22 t カタログ等参照⇒ 吊具荷重 0.2 t 生CON1m ³ につき2.3 tなので0.5m ³ なら1.15t⇒ 吊荷荷重 1.15 t 作業時最大荷重(計) 1.57 t																									
作業員の配置及び指揮系統	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>会社名</th> <th>氏名</th> <th>資格要件</th> <th>資格</th> </tr> <tr> <td>作業指揮者</td> <td></td> <td></td> <td>事業者による指名・選任票</td> </tr> <tr> <td>クレーン運転者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>玉掛者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>玉掛者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合図者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	会社名	氏名	資格要件	資格	作業指揮者			事業者による指名・選任票	クレーン運転者				玉掛者				玉掛者				合図者				人払い方法 <input type="checkbox"/> 笛 <input type="checkbox"/> 自動アナウンス <input type="checkbox"/> 警報器 <input type="checkbox"/> プザー <input type="checkbox"/> その他 ()
会社名	氏名	資格要件	資格																							
作業指揮者			事業者による指名・選任票																							
クレーン運転者																										
玉掛者																										
玉掛者																										
合図者																										



【吊り具】



【参考】

クレーンの性能が分かる資料を準備(性能表等)

移動式クレーンについて記入する部分です。

均しコンクリート打設作業の記入例です。

使用するクレーンや吊り具のカタログ等を参照しながら、項目に従って記入してください。作業時最大荷重は、フック重量、吊具荷重、吊荷荷重の合計荷重になります。

【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25tラフタークレーン

吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57t ブーム30.5m ジブ m オフセット *

作業方法
 作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: 22.0m 実作業時の作業半径: 15.0m
 アウトリガ一張出: 性能表等を参照 → 6.5m、(後方) 6.5m
 吊具等: 玉掛けリヤ、ベルトスリング、リヤモック、チェーン、クランプ、シャックル、磁石
 (その他) 介錯ロープ、コンクリートバケット

作業内容
 均しCON打設
 フック重量 0.22t
 吊具荷重 0.2t
 吊荷荷重 1.15t
 作業時最大荷重(計) 1.57t

作業員の配置及び指揮系統

実作業時の定格総荷重	3.8t	× 90% =	3.42t	≥	OK	作業時最大荷重(計)	1.57t
会社名	氏名	資格要件	資格				
作業指揮者			事業者による指名・選任票				
クレーン運転者				人払い方法			
玉掛者							
玉掛者							
合図者							

■定格総荷重表

①アウトリガ使用 [ブーム]

アウトリガ最大張出(6.5m) 一全周-

作業半径	30.5m	16.5m	10.5m	6.5m	30.5m
2.5m	25.0	15.0	12.5		8.0
3.0m	25.0	15.0	12.5		8.0
3.5m	25.0	15.0	12.5		8.0
4.0m	23.5	15.0	12.5		8.0
4.5m	21.5	15.0	12.5		8.0
5.0m	19.6	15.0	12.5		8.0
5.5m	17.8	15.0	12.5		8.0
6.0m	16.3	15.0	12.4		8.0
6.5m	15.1	15.0	11.7		8.0
7.0m		14.0	11.0		8.0
8.0m		11.3	9.8		8.0
9.0m		9.2	8.8	7.6	
10.0m		7.5	7.6	6.9	
11.0m		6.3	6.6	6.3	
12.0m			5.35	5.6	5.6
13.0m			4.6	4.85	4.9
13.5m			4.25	4.5	4.6
14.0m				4.25	4.3
15.0m				3.7	3.8
16.0m				3.25	3.25
17.0m				2.9	3.0
18.0m				2.55	2.65
19.0m				2.3	2.4
20.0m				2.05	2.15
20.5m				1.95	2.0
21.0m					1.9
22.0m					1.7
					1.35
					1.1
					0.9

1.57t以上の能力の最大半径

クレーン能力最大半径は、先ほど求めた作業時最大荷重である1.57トン以上の能力の最大半径としてください。

今回の場合、1.7トンが吊れる作業半径である22メートルがクレーン能力最大半径となります。

実作業時の作業半径は、現地や作業計画図等で確認したうえで、計画している作業半径を記入してください。

アウトリガは原則、最大張り出しとしてください。張り出し長さはカタログ等を参照してください。

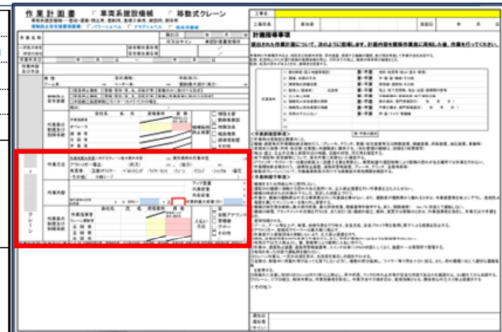
実作業時の定格総荷重は、実作業時の作業半径15メートルでの定格総荷重である3.8トンとしてください。

この荷重に安全率90%を見込むと、3.42トンとなります。

この3.42トンが作業時最大荷重である1.57トンを下回らないように計画してください。

【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25 t ラ フ ター ク レー ン	作業方法	吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57 t ブーム30.5m ジブ m オフセット m 作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: 22.0 m 実作業時の作業半径: 15.0 m アウトリガー張出: (前方) 6.5 m、(後方) 6.5 m 吊具等: ・玉掛けワイヤー ・ベルトスリング ・ワイヤーモック ・チェーン ・クランプ ・シャックル ・磁石 (その他) 介錯ロープ コンクリートバケット			
	作業内容	均しCON打設 フック重量 0.22 t 吊具荷重 0.2 t 吊荷荷重 1.15 t 作業時最大荷重(計) 1.57 t			
	作業員の 配置及び 指揮系統	実作業時の定格総 荷重	3.8 t × 90% = 3.42 t ≥ OK		
		作業指揮者	会社名	氏名	資格要件
クレーン運転者		山野工業	栗本 操次郎	5t以上 免許	
玉掛者		小川建設	宮下 隆	1t以上 技能講習	
玉掛者	//	亀岡 直哉	1t以上 技能講習		
合図者	//	福富 一平			



玉掛け作業に必要な資格区分

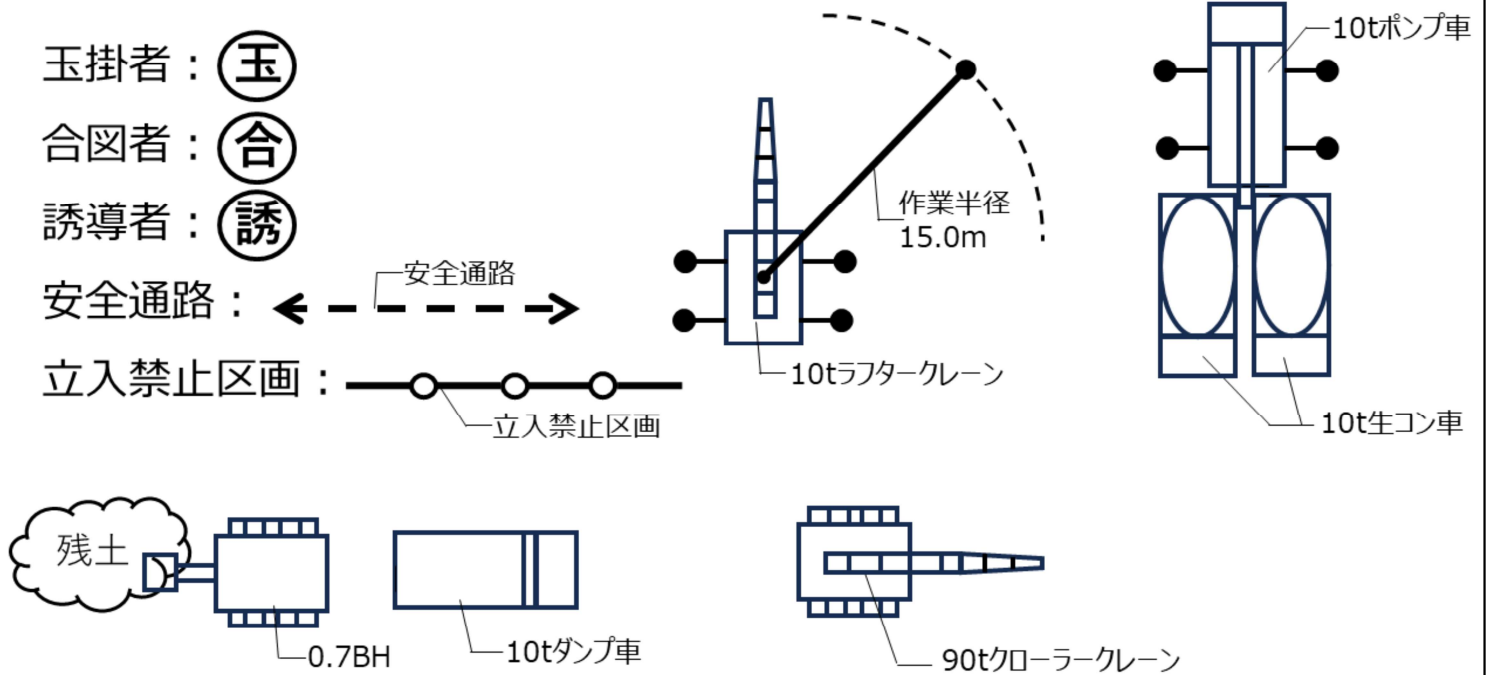
吊り上げ荷重 による区分	必要資格
1t以上	【技能講習】玉掛け
1t未満	【特別教育】玉掛け

クレーン運転者に必要な資格区分

吊り上げ荷重による 区分	必要資格
5t以上	【免許】移動式クレーン運転士
1t以上～5t未満	【技能講習】移動式クレーン運転士
1t未満	【特別教育】移動式クレーン運転士

クレーン運転者や玉掛け作業には資格が必要です。吊り上げ荷重による区分により、必要な資格が異なるので注意してください。玉掛者と合図者の兼任は可能です。

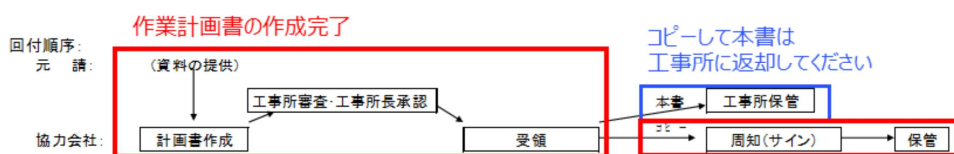
【作業計画図に記入する重機や区画等の記入例】



OKUMURA CORPORATION

作業計画図に記入する重機や区画等を手書き記入する場合の記入例です。
作業半径は作業計画図の縮尺に合わせて記入してください。縮尺が1/100の場合、1メートルが1センチメートルの長さになります。

【関係作業員への周知について】



コピーした作業計画書の内容を関係作業員に周知し、周知日と周知者を記録して保管してください。



周知日	4/21	4/26	4/28	
周知者 (サイン)	鈴勝 福島 宮栗 佐太 木広 村宮 富岡 下本 藤田 部島	久高 森保 木下	木山 穂村 崎藤

計画内容を関係作業員に必ず周知してから作業を行ってください
作業員が交代した際も、必ず計画内容の周知を行い、記録を残してください

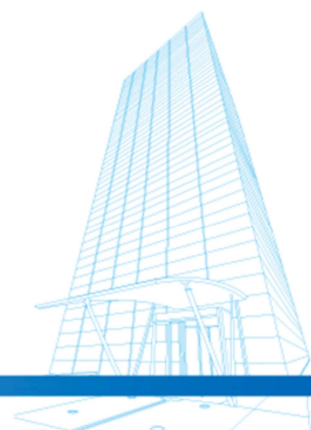
作成完了後、作業計画書をコピーしてください。

本書は工事所に返却してください。

コピーした作業計画書の内容、右ページの指導事項等を確認して、作業を開始するまでに、必ず関係者に周知してください。

周知が完了したら、右ページ下の欄に周知びを記入し、周知対象者に必ずサインをもらうようにしてください。

作業員の方が交代した場合も、作業計画書の内容を都度周知し、周知した記録を残してください。



以上で説明を終わります。